

れるとともに、衛生管理の徹底や生産コストの低減などを図り、大手メーカーとの契約や輸出に繋げ安定した販売を行い平成27年度には6億円を目指す計画である。

今後の販売戦略としては、本年度も3種類のれいほくオリジナル商品の開発、昨年4月シンガポールでの食品見本市に始まり6月に香港で四国フェアの催事、7月にはシンガポール伊勢丹で高知県フェアの催事、本年2月には香港での高知県フェアの催事に参加するなど国内外を含め海外への販路拡大を図る。また、通販顧客の開拓を行うこととしている。

調査の結果、新たな販売戦略には多額な経費が必要であり、生産者からの買取り単価の維持向上を図る上において、行政など関係機関と連携を密にし、販路拡大に対する国等のソフト事業を導入する一方、思い切った発想転換の一つとして、嶺北管内の商店では安価な

価格での販売やお中元やお歳暮などによる積極的な消費拡大を図り、県外等での顧客増加に繋げる手法等を期待するものである。

## 2 「ゆとりすとカントリーおおとよ」の施策の大綱における環境と、交流からの山村再生の取り組み状況と本年度の活動計画

平成22年度から交流の活性化による地域再生に向けた取り組みとして、都市生活者にとって非日常であり魅力的な山村の日常生活の営み、生産活動の営み、加えて、雄大な自然にチャレンジするアウトドアスポーツの体験などを「山村でのセカンドライフ」として提供し、あるがままの山村の営みを通じた交流からの地域の活力再生を図るため、平成24年度までの3年間にわたり地域間交流推進事業を導入し、近畿日本ツーリスト(株)へ委託している。

平成22年度は、立川御

殿などの団体及び個人受入れ可能箇所、食事、宿泊の素材確認、宣伝・販促、町内イベント、会議体の調査分析を行い平成24年度までの観光実施計画を策定している。平成23年度の計画は、次のとおりである。

- (1)地域間交流の推進  
庵谷せせらぎ会と穴内あけぼの会を核とした山村における日常生活の営み、生産の営みの体験を都市に暮らす人々に魅力として提供、更にラフティングと組み合わせ「山村で暮らす休日ツアー」として販売する。
- (2)交流拠点の整備  
ガイド養成講座の開催、先進地視察を実施し、地域における担い手の育成を図る。交流ネット環境の推進については、大豊町観光開発協会のホームページの開設やリンク先営業に努めアクセス数の拡大を図る。
- (3)交流推進体制整備  
PR促進グッズ(し

おり)を作成マイカー族対象の周遊コース確立、観光タクシーの推進など地域間相互協力体制の確立を目指す。また、交流推進事業戦

力会議を開催する。

## (4)交流からの定住対策

出会い体験交流として、婚活ツアーの開催。交流からの山村再生の取り組みについては、ソフト事業であり実績が目に見えない状況ではあるが、本年度で2年目を迎えており着実に実績を残す一方、地域間交流推進事業が一過性にならないよう住民の立場に立つて監視する必要がある。

## 3 ミシマサイコ栽培状況

本町では、平成20年から耕作放棄地の解消と高齢の農家でも比較的栽培しやすい薬草であるミシマサイコをツムラ製薬との間で契約栽培を行っている。

栽培については、生産組織として任意組織であ



ミシマサイコの栽培

る「ドリームタウン大豊」を設立し、本年度は17人の会員をもって2ヘクタールを栽培している。今回は、東庵谷集落の3戸の農家で35アール栽培をしているほ場を視察した。ミシマサイコの栽培技術は発芽をいかにさせるか大きなポイント言われているが、発芽率は極めて良好であった。本町の計画の要である「ゆとりすとカントリーおおとよ」の施策として、薬草栽培の推進を図ると位置付けをし、サンショウ、ミシ

マサイコ、ホソバオケラなどを導入し1億円産業として積極的に取り組むと計画をされている。農家の超高齢化が進む中、耕作放棄地を未然に防止し、高齢の農家でも比較的に栽培しやすい薬草を有利販売し、農家所得の向上を図るためには、薬草の調整施設整備が必要と思慮するものである。国の有利な制度を導入しゼンマイ共同加工施設など、農産物加工部門の一元的な施設整備を早急に検討することを望む。

## 主な条例等

### 大豊町税賦課徴収条例等の一部改正

(賛成者・全員)

東日本大震災の被災者の税負担軽減をするため、特例措置を定めた税制改正法に基づき改正。

### 大豊町暴力団排除条例の施行に伴う関係条例の整備

(賛成者・全員)

平成23年4月1日に施行された「大豊町暴力団排除条例」に基づき、公の施設の設置及び管理条例(大豊町複合集会所・大豊町農工センター・大豊町総合ふれあいセンター・大豊町拠点観光施設)に暴力団排除に関する規定を追加。

### 損害賠償の額の決定及びこれに関する和解

(賛成者・全員)

大豊町主催の「秋の美化活動」で一斉清掃を行っていた際、倒木によって負傷した事故についての和解。



## 元町議会議員 上村周一郎氏 旭日単光章受章

上村周一郎氏が、去る5月に地方自治功労者として旭日単光章を受章されました。長年のご功績が花開き、栄えある叙勲を心からお祝いを申し上げます。

## 編集後記

近年町内でもアジサイ(紫陽花)が林道沿いや水田の畦などに植えられ、白や紫、ピンクなどの花が咲いております。雨に濡れたアジサイには格別な風情があり、日本の四季の豊かさが感じられます。アジサイは俳句の世界では夏の季語。花びらに見える萼片が4枚であるため「四葩」(葩は、花びらの意味)、花形から「手毬花」、日々微妙に変化する花色から「七変化」などの異名があります。アジサイの花言葉は、古来からの印象や伝統による先入観もありますが、人によっては、「一家だんらん」、「家族の結びつき」を象徴する花だとも言われています。



今年の梅雨は平年より10日ほど早く明け、35度を超える猛暑日が続くと予想されます。町民の皆様、水分を十分取るなど熱中症には十分気を付けてください。

佐藤 徳治

### 広報編集特別委員会

委員長 佐藤 徳治  
副委員長 小川 智也  
委員 三谷幸一郎  
委員 前野 由和  
委員 都築 正光

### 大豊議会事務局

【ご意見やご感想は】  
電話72-0468(直通)まで